

日刊 勤労千葉

82・6・19
No. 1074

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〇六(公衆)〇五三三(22)七二〇七

33 出そ33 4 強

木更津・佐倉 成田・津田沼

6/16 才四回 野球大会 開幕! 準決勝・決勝戦は6月23日に

勤労千葉サークル協主催、才四回軟式野球大会は、6月16日、9時20分より、千葉市、天台泉宮スポーツセンターにおいて、全支部から165名が参加して、一、二回戦が行われた。

開会式は大岩木連会長の司会のもと、関川委員長より「才二臨調、国鉄労働運動解体攻撃粉碎のため、日夜奮闘している中であるが、今日の野球大会も全力をあげて奮闘してほしい」との挨拶をうけた。計七試合におよぶ熱戦が展開され、津田沼・木更津・佐倉・成田の四支部が準決勝にこまを進めた。なお、準決勝・決勝戦は、6月23日に、千葉市、公園球場で行われる予定である。

『A グラント・オニ試合』

木更津 1/2000004
館山 000000000

平均年令「21才」と若さにまさる木更津支部チームのパワーが平均年令「35才」の館山支部チームの技を圧した試合となった。

木更津、嶋田選手の投打にわたる活躍に対し、ついに館山支部は得点をあげることができずに惜敗した。

開会式後の緊張した両チーム先攻、木更津支部は、一回表に四球、盗塁と三ゴロエラーで先取点で気をよくし、二回もエラーで一点追加、三回は若さを發揮し、長短打で二点、計四点を取った。一方、館山支部も、嶋田投手の速球に負けずヒットを放つが、木更津支部の好守にはばまれた。

『A グラント・オニ試合』

津田沼 020000002
新小岩 000000000

津田沼支部は、二回表、四番石川の四球と盗塁、三ゴロで三進、スライズ失敗で、三本向にはさまれたが、新小岩支部の守備の乱れで生かす。気を良くして、六番三瓶七番庄司の連打で二点先取。新小岩支部、松本投手は、以降再三のピンチをよく耐え、0点に押えたが、津田沼小倉投手の好投に、今一つの打撃が、さうわす、シャットアウト負けを喫した。

『B グラント・オニ試合』

幕張 000000000
佐倉 00001000X

勤労千葉最大の幕張支部、対若手を中心とした佐倉支部。双方優勝候補の好対決。幕張、鈴木裕之投手、佐倉、小林投手共に甲乙つけがたい好投手故に、どちらがワンチャンスをもにするかであった。結局、佐倉は、四回裏、大竹がフルカウントで放った中堅オーバーのホームランが決勝点となった。

『B グラント・オニ試合』

成田 00001030137
勝浦 0020200015

久しぶり若い力が加わった成田支部、対、黒潮打線の対決は、三回勝浦が屋代、久我の長短打とエラーで二点先行し、五回にも二点追加し、四回一と差をつけたが、六回、成田は、二四球で五番成毛の二塁打と2エラーで同点とし、双方得点できず、延長促進ルールとなった。結局、成田が三点をあげ、伊藤投手が猛追撃する勝浦を一点に押し、切り切った。

二回戦

千葉戦 000000001
木更津 010210X4X

勢いづいた木更津支部、対、大応援団をバックにした千葉戦支部は、にぎやかな試合となった。木更津支部は、二回裏、五番嶋田の打球が三塁ベースに

津田沼 300000003
銚子 000000000

初参加の銚子支部、強豪津田沼支部に挑戦。先攻の津田沼支部、一回表に四番石川の2ランホームラン等で三点を取り、二才的な試合かみせながら、銚子支部、小林投手を中心に、強風にも助けられ、よく守り切り、以後得点を許さず、一方、銚子支部は全員野球で津田沼、行川投手に立ち向ったが、故弊四安打零封に押し切られた。

蘇我 300100004
佐倉 160101X9X

新鋭蘇我支部、前年優勝の佐倉支部を相手に、一回表、川名のヒットを足場に、四球とエラーと吉野・山村のヒットで一挙に三点を強襲するスタートを切った。しかし、地力に勝る佐倉支部は、蘇我支部自身投手の制球難と五番佐久向の二本塁打を含む長短七本のヒットを浴びせ、大量失点を取る。蘇我支部は、四回に連打で一点を返したが、佐倉、小林投手の好投にはばまれ、結局、押し切られた。